

特集 感動をありがとう

鈴木猛史 遠藤尚 星野純子
この冬、世界を舞台に活躍し、
町民に夢と感動を与えた3選手の活躍を振り返ります



鈴木猛史

ソチ冬季パラリンピック
アルペンスキー男子回転座位 金
男子滑降座位 銅

回転競技で果敢にコースを攻める鈴木選手 (RIA Novosti / 時事通信フォト)



銅メダルを獲得した滑降競技での滑り (AFP = 時事)

3度目の挑戦で念願の金

3月7日から16日まで、ロシアのソチで開催された冬季パラリンピックで本町出身の鈴木猛史選手(駿河台大職員、猪苗代高卒)がアルペンスキー男子回転座位で金メダル、同滑降座位で銅メダルを獲得しました。前回のバンクーバー大会では、滑降、スーパー大回転、スーパー複合回転と大回転の全5種目に出場。大回転では銅メダルを獲得しました。その後も着実に実力をつけてきた鈴木選手。2012〜13シーズンの障害者アルペンスキーワールドカップ(W杯)の男子座位では種目別の回転で総合1位、座位総合成績でも金メダルを獲得するなど、世界のトップ選手へ上り詰めました。

世界ランク1位で迎える3度目の冬季パラリンピック。周囲からは金メダル獲得に大きな期待が寄せられました。2月3日に町役場で行われた壮行会には大勢の町民が訪れ、鈴木選手を激励。鈴木選手は「金メダルを持って帰ります」と自らを奮い立たせました。

鈴木選手は今回のパラリンピックでも全5種目に出場。大会2日目の8日には、鈴木選手が出場する最初の種目、滑降競技が行われました。鈴木選手は苦手とする高速系

の種目で見事銅メダルを獲得。幸先のいいスタートを切りました。

13日に行われた回転競技では、鈴木選手が1回目で2位と好位置につけるも、1位との差は1秒61。決して簡単に逆転できる差ではなかったものの、2回目、果敢にコースを攻める滑りでただ一人、1分を切るタイムをマーク。大逆転をやったのけ、自身初の金メダルを手に入れました。

本町出身の選手がオリンピック・パラリンピックで金メダルを獲得したのは初めてで、町内では鈴木選手の活躍を祝う看板があちこちに掲げられるなど、祝福ムードに包まれました。

今大会で日本勢が獲得した6つのメダルのうち、2つを獲得した鈴木選手。「今回かなわなかった日本人選手による表彰台独占を、4年後の平昌(ピョンチャン)で果たしたい」と早くも次のパラリンピック出場に意欲を見せています。



回転競技のメダルセレモニー後、「ありがとう」の感謝の言葉とともに、金メダルを母の弘子さんに掛けて、父の保さんと3人で記念撮影

星野純子

W杯福島猪苗代大会
女子デュアルモーグル 銅



ソチ冬季五輪女子モーグル予選1回目での星野選手の滑り(時事)



1



2



4



3

1_デュアルモーグルでの滑り 2_星野選手に大きな声援を送る観客 3_地元でのメダル獲得に「ピュアスマイル」がはじける。左は男子デュアルモーグル2位の遠藤尚選手 4_星野選手のエア

子どもたちに夢を与えた銅メダル

初めての出場となったソチ冬季オリンピックでは、「思うような滑りができず悔しかった」と話した星野純子選手(チームリステル)。

五輪後、町役場を訪れ、結果を報告した星野選手は「猪苗代でのW杯には気持ち切り替えて臨みたい。自分がそうだったように、見に来てくれた子どもたちが『モーグルをやってみよう』と思ってくれるような滑りをしたい」と抱負を述べました。

ソチ五輪の興奮が冷めやらぬ中、フリースタイルスキーワールドカップ(W杯)福島猪苗代大会は3月1、2の両日、リステルスキーファンタジアが開かれ、会場には大勢の観客が訪れました。

1日に行われたモーグルでは、星野選手が安定した滑りを見せ、予選と決勝1回目を2位で通過。日本勢でただ一人、決勝2回目(スーパーファイナル)に進出し、6位入賞を果たしました。

2日のデュアルモーグルでも、予選4位と好発進。前日、表彰台まであと一歩という成績を収めた星野選手に、大



星野選手の3位が決定し、喜びに沸く観客

な期待が寄せられました。

決勝トーナメントでは、対戦相手が難コースに苦戦する中、星野選手はミスがあっても持ち直す粘り強い滑りで、1回戦と準々決勝を勝ち進みました。

準決勝では優勝したハナ・カーニー選手(米国)に敗れ、3位決定戦に回った星野選手タイムでは対戦相手に及ばなかったものの、ターン点で上回り、見事銅メダルを獲得しました。

星野選手は地元リステルのW杯で初の表彰台。3位がアウンズされると会場は喜びに沸きました。直後のインタビュウでは星野選手が「皆さんの応援がとても力になった」と大きな声援を送り続けた観客に感謝しました。



「世界で活躍する姿に憧れます」

箱崎桃子さん
(猪苗代小4年)※

猪苗代で開かれるW杯は毎回観戦しています。選手たちの滑りはとても速くて、滑り方もきれいで本当にすごいと思います。自分もあんなふうに滑れるようになりたいです。世界のトップ選手たちの競技はとても刺激になるし、憧れます。スイミングをやっているの、がんばって世界で活躍できるようになれたらいいなと思いました。



「感動しました」
川嶋誠司さん(右)
「純子先生かっこいい」
千愛さん(左)
(郡山市)

以前娘が星野選手にスキーを教わったこともあって、見てみたいと言っていたので来てみました。初めて観戦しましたが、テレビで見るのとは違って迫力がありますね。星野選手と遠藤選手の活躍にとっても感動しました。見に来てよかったです。(誠司さん) 純子先生かっこよかったです。私もあんなふうに滑れるようになりたいです。(千愛さん)

※学年は3月2日現在



1



2



4



3

1_ 圧倒的なスピードでコースを駆け抜ける遠藤選手 2_ 遠藤選手を祝福する観客 3_ デュアルモーグルで2位となり、3位の星野選手とグータッチを交す 4_ 遠藤選手のエア



遠藤 尚

W杯福島猪苗代大会
男子デュアルモーグル 銀

ソチ冬季五輪男子モーグル予選でエアを決める遠藤選手(時事)

オリンピックの悔しさ晴らす
地元での銀メダル

4年前のバンクーバー冬季オリンピックでは、初出場ながら日本男子モーグル勢過去最高となる7位入賞を果たした遠藤尚選手(忍建設、猪苗代高卒)。

メダルの期待がかかったソチ五輪では15位という結果に「本当にショックだった。応援してくれた皆さんに申し訳ない」と話した遠藤選手ですが、予選では力を温存しつつも4位で決勝に進出。あらためてその能力の高さを示しました。

町役場に報告に訪れた遠藤選手は「原点に戻って4年後の五輪を目指す。まずは猪苗代でのW杯でしっかり滑りたい」と話しました。

W杯福島猪苗代大会、モーグルでは第2エアの着地後に転倒し途中棄権。「楽しんで滑ろう」。気持ちを切り替えて臨んだ翌日のデュアルモーグル。2位で予選を通過すると、「圧倒的なスピードと切れのあるエアで決勝トーナメントを順調に進み進みました。

決勝の対戦相手は、ソチ冬季五輪銀メダリストのミカエル・キングズベリー選手(カナダ)。地元の大歓声が響く中、遠藤選手は果敢にコースを攻め、先にフィニッシュ。キングズベリー選手に惜しくも敗れたものの、結果は堂々の2位。自身初の銀メダルを獲得しました。

遠藤選手は試合後のインタビュー

で「今までやってきたことを五輪では見せられなかったので、ここで見せたかった。地元ではなかなか結果を残せずにいたが、応援してくれる皆さんの前で銀メダルをとることができてうれしい」と喜びをかみしめました。

メダルセレモニーでは星野選手が3位、遠藤選手が2位と本町ゆかりの両選手が表彰台上がり、会場は歓喜に包まれました。

夢と感動をありがとう

世界を舞台に活躍し、猪苗代の冬を熱くした3選手。

うれしいことに、3人とも4年後のオリンピック・パラリンピックを目指すと話してくれました。

3度目のパラリンピック挑戦でついに金メダルに輝いた鈴木選手
ホームゲレンデで念願の表彰台に立った星野選手
地元でのW杯で自己最高の銀メダルを獲得した遠藤選手

「私たちに夢と感動をありがとう」。

そして、4年後のオリンピック・パラリンピックにまた挑戦することを決意してくれた選手たちに、心から感謝します。

「私たちに夢を見続けさせてくれてありがとう」。

特集 感動をありがとう 終わり